

イースター

なぜそんなに大切なのか？

クリスチャンにとって、イースターは一年で最も大切な時です。イースターとは、イエスが死んでよみがえったことを思い出す時です。イエスが私たちの罪の代わりに罰を受け罪の力に勝利したのは、私たちが、罪の結果による死から自由にされるためです。

何が起こったのか？

以下の聖書箇所を読んでまとめてください。

マタイ 26:1-4

マタイ 26:1-4

- (1) イエスは、これらの話をすべて終えると、弟子たちに言われた。
- (2) 「あなたがたの知っているとおりに、二日たつと過越の祭りになります。人の子は十字架につけられるために引き渡されます。」
- (3) そのころ、祭司長、民の長老たちは、カヤパという大祭司の家の庭に集まり、
- (4) イエスをだまして捕らえ、殺そうと相談した。

マタイ 26:55-56

マタイ 26:55-56

- (55) そのとき、イエスは群衆に言われた。「まるで強盗にでも向かうように、剣や棒を持ってわたしをつかまえに来たのですか。わたしは毎日、宮ですわって教えていたのに、あなたがたは、わたしを捕らえなかったのです。」
- (56) しかし、すべてこうなったのは、預言者たちの書が実現するためです。」そのとき、弟子たちはみな、イエスを見捨てて、逃げてしまった。

マタイ 26:59-65

マタイ 26:59-65

- (59) さて、祭司長たちと全議会は、イエスを死刑にするために、イエスを訴える偽証を求めていた。
- (60) 偽証者がたくさん出て来たが、証拠はつかめなかった。しかし、最後にふたりの者が進み出て、
- (61) 言った。「この人は、『わたしは神の神殿をこわして、それを三日のうちに建て直せる』と言いました。」
- (62) そこで、大祭司は立ち上がってイエスに言った。「何も答えないのですか。この人たちが、あなたに不利な証言をしていますが、これはどうなのですか。」
- (63) しかし、イエスは黙っておられた。それで、大祭司はイエスに言った。「私は、生ける神によって、あなたに命じます。あなたは神の子キリストなのか、どうか。その答えを言いなさい。」
- (64) イエスは彼に言われた。「あなたの言うとおりに。なお、あなたがたに言うておきますが、今からのち、人の子が、力ある方の右の座に着き、天の雲に乗って来るのを、あなたがたは見ることになります。」
- (65) すると、大祭司は、自分の衣を引き裂いて言った。「神への冒瀆だ。これでもまだ、証人が必要でしょうか。あなたがたは、今、神をけがすことばを聞いたのです。」

マタイ 27:1-2

マタイ 27:1-2

- (1) さて、夜が明けると、祭司長、民の長老たち全員は、イエスを死刑にするために協議した。
- (2) それから、イエスを縛って連れ出し、総督ピラトに引き渡した。

マタイ 27:11-14

マタイ 27:11-14

- (11) さて、イエスは総督の前に立たれた。すると、総督はイエスに「あなたは、ユダヤ人の王ですか」と尋ねた。イエスは彼に「そ

のとおりです」と言われた。

(12) しかし、祭司長、長老たちから訴えがなされたときは、何もお答えにならなかった。

(13) そのとき、ピラトはイエスに言った。「あんなにいろいろとあなたに不利な証言をしているのに、聞こえないのですか。」

(14) それでも、イエスは、どんな訴えに対しても一言もお答えにならなかった。それには総督も非常に驚いた。

マタイ 27:22-26

マタイ 27:22-26

(22) ピラトは彼らに言った。「では、キリストと言われているイエスを私はどのようにしましょうか。」彼らはいっせいに言った。「十字架につけろ。」

(23) だが、ピラトは言った。「あの人がどんな悪い事をしたというのか。」しかし、彼らはますます激しく「十字架につけろ」と叫び続けた。

(24) そこでピラトは、自分では手の下しようがなく、かえって暴動になりそうなを見て、群衆の目の前で水を取り寄せ、手を洗って、言った。「この人の血について、私には責任がない。自分たちで始末するがよい。」

(25) すると、民衆はみな答えて言った。「その人の血は、私たちや子どもたちの上にかかってもいい。」

(26) そこで、ピラトは彼らのためにバラバを釈放し、イエスをむち打ってから、十字架につけるために引き渡した。

マタイ 27:33-40

マタイ 27:33-40

(33) ゴルゴタという所（「どくろ」と言われている場所）に来てから、

(34) 彼らはイエスに、苦みを混ぜたぶどう酒を飲ませようとした。イエスはそれをなめただけで、飲もうとはされなかった。

(35) こうして、イエスを十字架につけてから、彼らはくじを引いて、イエスの着物を分け、

(36) そこにすわって、イエスの見張りをした。

(37) また、イエスの頭の上には、「これはユダヤ人の王イエスである」と書いた罪状書きを掲げた。

(38) そのとき、イエスといっしょに、ふたりの強盗が、ひとり右に、ひとり左に、十字架につけられた。

(39) 道を行く人々は、頭を振りながらイエスをののしって、

(40) 言った。「神殿を打ちこわして三日で建てる人よ。もし、神の子なら、自分を救ってみろ。十字架から降りて来い。」

マタイ 27:45-55

マタイ 27:45-55

(45) さて、十二時から、全地が暗くなって、三時まで続いた。

(46) 三時ごろ、イエスは大声で、「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」と叫ばれた。これは、「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。

(47) すると、それを聞いて、そこに立っていた人々のうち、ある人たちは、「この人はエリヤを呼んでいる」と言った。

(48) また、彼らのひとり人がすぐ走って行って、海綿を取り、それに酸いぶどう酒を含ませて、葦の棒につけ、イエスに飲ませようとした。

(49) ほかの者たちは、「私たちはエリヤが助けに来るかどうか見ることとしよう」と言った。【ほかの者が槍を取って、イエスのわき腹を突き刺した。すると、水と血が出て来た。】

(50) そのとき、イエスはもう一度大声で叫んで、息を引き取られた。

(51) すると、見よ。神殿の幕が上から下まで真つ二つに裂けた。そして、地が揺れ動き、岩が裂けた。

(52) また、墓が開いて、眠っていた多くの聖徒たちのからだが生き返った。

(53) そして、イエスの復活の後に墓から出て来て、聖都に入って多くの人に現われた。

(54) 百人隊長および彼といっしょにイエスの見張りをしていた人々は、地震やいろいろの出来事を見て、非常な恐れを感じ、「この方はまことに神の子であった」と言った。

(55) そこには、遠くからながめている女たちがたくさんいた。イエスに仕えてガリラヤからついて来た女たちであった。

なぜイエスは死んだのか？

イエスの死は、神を信じる全ての者を救うための神様の計画でした。旧約聖書の予言には、イエスの死が明確に語られています。

例

イザヤ53

イザヤ53

(1) 私たちの聞いたことを、だれが信じたか。主の御腕は、だれに現われたのか。

(2) 彼は主の前に若枝のように芽ばえ、砂漠の地から出る根のように育った。彼には、私たちが見とれるような姿もなく、輝きもなく、私たちが慕うような見ばえもない。

- (3) 彼はさげすまれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で病を知っていた。人が顔をそむけるほどさげすまれ、私たちも彼を尊ばなかった。
- (4) まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。だが、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと。
- (5) しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。
- (6) 私たちはみな、羊のようにさまよい、おのおの、自分かってな道に向かって行った。しかし、主は、私たちのすべての咎を彼に負わせた。
- (7) 彼は痛めつけられた。彼は苦しんだが、口を開かない。ほふり場に引かれて行く羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。
- (8) しいたげと、さばきによって、彼は取り去られた。彼の時代の者で、だれが思ったことだろう。彼がわたしの民のそむきの罪のために打たれ、生ける者の地から絶たれたことを。
- (9) 彼の墓は悪者どもとともに設けられ、彼は富む者とともに葬られた。彼は暴虐を行わず、その口に欺きはなかったが。
- (10) しかし、彼を砕いて、痛めることは主のみこころであった。もし彼が、自分のいのちを罪過のためのいけにえとするなら、彼は末長く、子孫を見ることができ、主のみこころは彼によって成し遂げられる。
- (11) 彼は、自分のいのちの激しい苦しみのあとを見て、満足する。わたしの正しいしもべは、その知識によって多くの人を義とし、彼らの咎を彼がになう。
- (12) それゆえ、わたしは、多くの人々を彼に分け与え、彼は強者たちを分捕り物としてわかちとる。彼が自分のいのちを死に明け渡し、そむいた人たちとともに数えられたからである。彼は多くの人々の罪を負い、そむいた人たちのためにとりなしをする。

).

読む 1 テモテ2:3-6

1テモテ2:3-6

- (3) そうすることは、私たちの救い主である神の御前において良いことであり、喜ばれることなのです。
- (4) 神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。
- (5) 神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです。
- (6) キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自身をお与えになりました。これが時至ってなされたあかしなのです。

なぜイエスは自分の命を捨てたのですか？

読む ローマ5:8

ロ-マ5:8

- (8) しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

なぜ神様はイエスが死ぬために彼をこの世に送ったのですか？

読む 2 コリント5:21

2コリント5:21

- (21) 神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方にあつて、神の義となるためです。

イエスはどんな方法で私たちの身代わりになったのですか？

なぜイエスはよみがえったのか？

読む マタイ28:1-10

マタイ28:1-10

- (1) さて、安息日が終わって、週の初めの日の明け方、マグダラのマリヤと、ほかのマリヤが墓を見に来た。
- (2) すると、大きな地震が起こった。それは、主の使いが天から降りて来て、石をわきへころがして、その上にすわったからである。
- (3) その顔は、いなずまのように輝き、その衣は雪のように白かった。
- (4) 番兵たちは、御使いを見て恐ろしさのあまり震え上がり、死人のようになった。
- (5) すると、御使いは女たちに言った。「恐れてはいけません。あなたがたが十字架につけられたイエスを捜しているのを、私は知っています。
- (6) ここにはおられません。前から言っておられたように、よみがえられたからです。来て、納めてあった場所を見てごらんさい。

- (7)ですから急いで行って、お弟子たちにこのことを知らせなさい。イエスが死人の中からよみがえられたこと、そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれ、あなたがたは、そこで、お会いできるということです。では、これだけはお伝えしました。」
- (8)そこで、彼女たちは、恐ろしくはあったが大喜びで、急いで墓を離れ、弟子たちに知らせに走って行った。
- (9)すると、イエスが彼女たちに出会って、「おはよう」と言われた。彼女たちは近寄って御足を抱いてイエスを拜んだ。
- (10)すると、イエスは言われた。「恐れてはいけません。行って、わたしの兄弟たちに、ガリラヤに行くように言いなさい。そこでわたしに会えるのです。」

イエスが墓に葬られた3日後に何が起こりましたか？

読む 使徒2:23-24

使徒2:23-24

- (23)あなたがたは、神の定めた計画と神の予知とによって引き渡されたこの方を、不法な者の手によって十字架につけて殺しました。
- (24)しかし神は、この方を死の苦しみから解き放って、よみがえらせました。この方が死につながれていることなど、ありえないからです。

どのようにイエスはよみがえりましたか？

読む コロサイ2:13-15

コロサイ2:13-15

- (13)あなたがたは罪によって、また肉の割礼がなくて死んだ者であったのに、神は、そのようなあなたがたを、キリストとともに生かしてくださいました。それは、私たちのすべての罪を赦し、
- (14)いろいろな定めのために私たちに不利な、いや、私たちを責め立てている債務証書を無効にされたからです。神はこの証書を取りのけ、十字架に釘づけにされました。
- (15)神は、キリストにおいて、すべての支配と権威の武装を解除してさらしものとし、彼らを捕虜として凱旋の行列に加えられました。

イエスは死んでよみがえったことによって何を達成しましたか？

読む 1コリント6:14

1コリント6:14

- (14)神は主をよみがえらせましたが、その御力によって私たちをもよみがえらせてくださいます。

なぜクリスチャンは永遠に生きることを確信できますか？

友達に聞こう

- あなたにとってイースターはどんな意味を持っていますか？
イースターのメッセージにあなたほどどのように応答しますか？
イースターについて他に何か質問はありますか？

実践

- なぜイースターのメッセージがそんなに大切なのですか？
イースターのメッセージはあなたの人生にとって何を意味しますか？
どのように私たちはそれに応答しますか？

祈ろう！

主イエス様、私が犯した悪い行いをどうか赦してください。私が死ななくて済むようにあなたが代わりに死んでくれたことを感謝します。毎日、私が罪から解放されて生きることができるようどうか助けてください。

覚えよう！

ローマ 5:8 (新改訳)

「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。」

The Blue Book © Lifehouse International Church 2020
Editing or publishing not permitted without prior permission. Not for sale.
For more information visit www.mylifehouse.com/bluebook